

令和4年1月  
新春記者会見

と き 令和4年1月7日（金）  
午前10時30分から  
ところ 市役所 201、202、203 会議室

会見次第

- 1 市長あいさつ
- 2 多子多胎世帯子育て支援施策 . . . . . P 1
- 3 富岡荒井線の令和4年12月末開通 . . . . . P 6
- 4 質疑

## 多子・多胎世帯子育て支援施策

令和4年度から第3子以降の給食費や保育料の無料化などを始めます

人にはそれぞれの生き方があり、結婚や出産に関しても、個々の価値観や考え方が尊重されるものです。一方、日本社会が持続していくためには、少子化対策も極めて重要です。多子・多胎世帯の子どもが中学校を卒業するまでの期間、ライフステージに応じた手厚い支援をし、子育ての喜びを醸成するとともに、犬山に住みたい・住み続けたいという定住促進につなげていきます。

### ○ 令和4年度から始める施策

- ⑤ 育児用品宅配事業（多子世帯）
- ⑥ 乳幼児健診等の付き添い支援事業（多子・多胎世帯）
- ⑦ 子ども未来園、保育園、幼稚園給食費の無料化（多子世帯）
- ⑧ 保育料（3歳未満児）の無料化（多子世帯）
- ⑨ 小学校の給食費の無料化（多子世帯）
- ⑩ 児童クラブ利用手数料の無料化（多子世帯）
- ⑪ 中学校の給食費の無料化（多子世帯）
- ⑫ コミュニティバス乗車料金の無料化（多子世帯）

### ○ 令和3年度から始めた施策

- ① 犬山産米配布事業（多子・多胎世帯）
- ② 移住・定住補助金の上乗せ（多子世帯）
- ③ 市主催の一部の講座等参加費等無料化（多子・多胎世帯）
- ④ 家事援助等ヘルパー派遣サービス提供（多子・多胎世帯）
- ⑬ 妊婦健診受診票の追加交付（多胎世帯）

### ○ これらの支援により





例えば、第3子のお子様が0歳から保育園に入園した場合、中学校卒業までで、約170万円相当額の負担が軽減されることとなります。

※保護者の所得状況により差異はあります。

# たし たたい 犬山市多子・多胎世帯 子育て支援施策 <R3年度・R4年度>

**\*多子（たし）世帯**  
同一世帯で3人以上の子どもを持つ家庭で、  
第3子以降の子が中学生以下の世帯

**\*多胎（たたい）世帯**  
双子以上の子ども（中学生以下）を持つ家庭

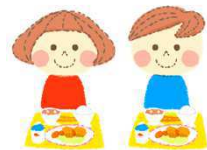
開始年度	ライフステージ	妊娠期	乳幼児期	保育園 幼稚園	小学生	中学生
多子世帯家庭	R3年度 スタート	 <p>①犬山産米配布事業(新米10kgを年1回提供) *第3子以降の子が中学卒業までの間 ②移住・定住補助金の上乗せ(住宅の取得・改修) ③市主催の一部の講座参加費等無料化</p>				
	R4年度 スタート					
多胎世帯家庭	R3年度 スタート	 <p>①犬山産米配布事業(新米10kg提供) *対象の子が中学卒業までの間 ③市主催の一部の講座参加費等無料化</p>				
	R4年度 スタート					

## <既に実施しているもの>

- 子ども医療費の助成
  - ・0歳から高校卒業までの通院及び入院医療費の自己負担分を全額助成  
※高校生は2/3助成→全額助成(R4.4.1に拡大)
- 育休退園の見直し
  - ・保護者が育児休暇を取得した場合でも、2歳児のみ保育の継続可能

## ●各事業の概要

- ① 犬山産のお米(10kg)を、年1回提供します。
- ② 既存の移住・定住補助金(住宅取得・改修)のうち、対象世帯に対し、20万円を上乗せします。
- ③ 0,1,2歳児を持つ親の勉強部屋など、市主催の一部の講座参加費等を無料とします。
- ④ 妊娠期から1歳まで(多胎児の場合は1歳6か月まで)の世帯に対し、家事援助や育児支援のために、サポーター(ヘルパー)を派遣します。
- ⑤ 1歳になるまで育児用品(おむつ等)を2か月毎に宅配します。
- ⑥ 乳幼児健診等の場に、ファミリーサポート援助会員が付き添い支援します。
- ⑦ 子ども未来園(保育園)、幼稚園等に通う第3子以降の園児の給食費を無料とします。
- ⑧ 第3子以降で3歳未満児の保育料を無料とします。
- ⑨ 第3子以降の小学校の給食費を無料とします。
- ⑩ 第3子以降の児童クラブ(通年利用)の利用手数料を無料とします。
- ⑪ 第3子以降の中学校の給食費を無料とします。
- ⑫ 対象世帯の世帯員がコミュニティバス(わん丸君バス)を利用する際の乗車料金を無料とします。
- ⑬ 多胎妊娠の場合、通常14回分の妊婦健診受診票を5回分追加し、19回分交付します。



## 多子・多胎世帯子育て支援施策\_\_個別事業概要

### ① 犬山産米配布事業 (産業課)

市内で収穫された新米「あいちのかおり」10kg(5kg×2袋)を年1回11～12月ごろに自宅までお届け。名古屋経済大学とJA愛知北と犬山市で作成するレシピパンフを同封。

【対象】多子世帯：第3子以降の子が中学卒業まで

多胎世帯：対象の子が中学卒業まで

【R3実績】1,012世帯(R3.12.10時点)

【R4見込み】1,200世帯 6,227,700円

### ② 移住・定住補助金の上乗せ (都市計画課)

住宅取得費用の一部を補助する「ふるさと・働いて定住促進サポート事業」に、多子世帯の場合はさらに20万円を上乗せ補助。

【対象】多子世帯：同一世帯で3人以上かつ第3子以降の子が中学生以下

【R3実績】7世帯(R3.12.17時点)

【R4見込み】3世帯 600,000円

### ③ 市主催の一部の講座等参加費等無料化 (各課)

市が主催する有料の講座などのうち一部の講座の参加費などを無料とする。

【R3対象、実績など】

講座名など	対象など	実績	担当課
国際交流員「ドイツの部屋」	多子・多胎世帯の世帯員全員が対象 料金は講座による(数百円)	参加者なし	地域協働課
日本語教室	多子・多胎世帯の世帯員全員が対象 料金は1人100円	参加者なし	地域協働課
0・1・2歳児を持つ親の勉強部屋	多子・多胎世帯の親が対象 料金は1人1,000円	4人	子ども未来課
文化史料館の入館券進呈	多胎児の就学時に文化史料館の入場券を2枚進呈(300円×2枚)	7件	歴史まちづくり課
いぬやまランニングフェスティバル参加料	多子世帯の子の3人目以降の参加を無料とする	開催なし	文化スポーツ課

#### ④ 家事援助等ヘルパー派遣サービス提供 (子ども未来課)

多子・多胎世帯(妊婦含む)にヘルパーを派遣し、主に家事援助を行う。利用は1日4時間、1月24時間が上限。多子・多胎世帯は無料。子ども2人世帯も利用は可能で、利用料は250円/時間。

【対象】多子世帯：第3子以降の子を妊娠中から1歳になるまで

多胎世帯：双子以上を妊娠中から1歳6カ月になるまで

【R3実績】9人(R3.12.17時点)

【R4見込み】延べ288人 2,880,000円

#### ⑤ 育児用品宅配事業 (健康推進課)

3人目以降の子が1歳になるまで、2カ月に1度、紙おむつなどの育児用品を無料で自宅に配達する。子育て経験のある配達員が、必要に応じて相談に乗ることで、気になる親子を保健センター等の支援につなげる。

【対象】多子世帯：第3子以降の子が1歳になるまで

【R4見込み】70人 1,340,000円

#### ⑥ 乳幼児健診等の付き添い支援事業 (健康推進課)

多子・多胎世帯(妊婦含む)の子が保健センターでの乳幼児健診を受診する際、希望する親に対して、ファミリー・サポート・センター援助会員が介助などの付き添い支援をする。第3子を妊娠中で、第2子の健診受診時も対象。また、第1子がいて、双子を妊娠中で、第1子の健診受診時も対象。

※ 医療機関で実施する乳児健診は対象外。

【対象】多子世帯：第3子以降の子を妊娠中から

多胎世帯：双子以上の出生から

【R4見込み】80人 144,000円

#### ⑦ 子ども未来園、保育園、幼稚園給食費の無料化 (子ども未来課)

子ども未来園や保育園、幼稚園等に在園する3人目以降の子の給食費を全額無料。

【対象】多子世帯：第3子以降の子

【R4見込み】157人 8,965,790円

**⑧ 保育料（3歳未満児）の無料化** （子ども未来課）

子ども未来園や保育園、幼稚園等に在園する3人目以降の子の保育料を全額無料。

【対象】多子世帯：第3子以降の子

【R4見込み】61人 20,203,200円

**⑨ 小学校の給食費の無料化** （学校教育課）

小学校に在籍する3人目以降の子の給食費を全額無料。

【対象】多子世帯：第3子以降の子

【R4見込み】467人 25,731,700円

**⑩ 児童クラブ利用手数料の無料化** （子ども未来課）

3人目以降の子の児童クラブ利用手数料を全額無料。

【対象】多子世帯：第3子以降の子

【R4見込み】189人 2,098,000円

**⑪ 中学校の給食費の無料化** （学校教育課）

中学校に在籍する3人目以降の子の給食費を全額無料。

【対象】多子世帯：第3子以降の子

【R4見込み】200人 12,674,860円

**⑫ コミュニティバス乗車料金の無料化** （防災交通課）

無料乗車を希望する者に無料乗車券を交付する。乗車時に提示することで、運賃（大人200円、小学生100円）が無料。わん丸君バス全8路線が対象。

【対象】多子世帯：世帯員全員

【R4見込み】2500人 93,600円

**⑬ 妊婦健診受診票の追加交付** （健康推進課）

厚労省が示す標準的な妊婦健康診査は14回だが、多胎妊婦は単胎妊婦に比べ妊娠中のリスクが高く、健康管理が重要になることから、通常の14回に加えて基本健診5回分の受診票を交付し、全19回の健診が無料で受診できる。

【対象】多胎妊婦

【R3実績】7人（R3.12.17時点）

【R4見込み】6人 131,400円

## 都市計画道路「富岡荒井線」の開通

令和4年12月末に全線開通します。

### ○ 富岡荒井線とは

「富岡荒井線」は、富岡新町交差点を起点に南下し、国道41号兼清交差点～日の出住宅中央～羽黒高見交差点～南部高齢者活動センター～楽田東子ども未来園西側～楽田上小針交差点～名古屋経済大学東側を經由し、小牧市本庄へと抜ける都市計画道路で、昭和46年に都市計画決定されています。

### ○ 富岡荒井線の重要性

市内の幹線道路網の中で、南北を縦断して通り抜けできる道路は、主要地方道「春日井各務原線」が主となっており、特に朝晩の車の集中などにより、何箇所かで慢性的な渋滞となっています。また、南北軸の主要道路が渋滞することで、東西軸の道路網への負担や、生活道路への通過交通の流入など様々な悪影響も出ています。

こうした課題に対応し、状況を改善するため、南北を縦断するもうひとつの幹線道路として、「富岡荒井線」を開通させることは重要であり、市民生活や地域経済の発展という意味で、極めて事業効果の高い路線です。

### ○ 整備状況と開通時期

現在の整備状況は、楽田の上小針交差点へ抜ける手前の約750mが未開通となっていますが、令和2年度に道路用地を全て取得することができ、昭和60年代からの念願であった開通へ目処が立ちました。

道路工事については、未整備区間の整備に着手しており、令和4年12月末の全線開通に向けて進めています。

